

神奈川県立海洋科学高等学校 漁師の仕事を知る授業
漁業ガイダンスに 7 人の生徒

12 月 23 日、神奈川県立海洋科学高等学校実習棟教室において、漁業ガイダンスが開催された。ガイダンスには、全日本海員組合、全国漁業就業者確保育成センターと、住吉漁業株式会社・大洋エーアンドエフ株式会社・共同船舶株式会社・焼津まぐろ漁業株式会社・株式会社長久丸・福一漁業株式会社・金沢漁業株式会社の 7 船主が参加し、神奈川県立海洋科学高等学校の本科 1 年生 3 人と 2 年生 4 人の計 7 人が出席した。

ガイダンスでは出席した生徒に対し、各社のブースにおいて約 6 分ずつ、漁業の種類や漁法、船内での生活や会社概要などについて、配布した資料の他、パソコンでの映像や操業中の動画を交えた説明が行われた。

出席した生徒は、真剣な表情で会社側の丁寧な説明を受け、将来漁船に乗りたい気持ちがあるかなどの意見交換が行われ、理解を深めた。

その後、全国漁業就業者確保育成センターの馬上敦子事務局長から、漁業ガイダンスの趣旨説明がなされた後、組合からは「各社からの説明を受けて漁船の魅力を知っていただき、将来漁船船員を目指す際の参考にさせていただきたい」と激励した。最後に事務局から、漁業就業支援フェアの予定について告知があり、漁業ガイダンスを終了した。

「海員だより」